

中西だより

令和4年6月30日
練馬区立中村西小学校
No.4 (7月号)



子供の成長を楽しむ

校長 工藤 智昭

『ドラえもん』が長寿（人気）番組になった要素の一つとして、人物構成があげられます。のび太はとても自尊感情が低い子供です。そして、のび太のお母さんは、「○○しなさい。」「○○しちゃだめよ。」と指示・命令語を言い続けています。「しつけ」のつもりで言っているのですが、のび太の心には響いていません。このようなのび太には、「失敗してもいいんだよ。やっごらん。」「大丈夫、君ならできるよ。」と繰り返し励ますドラえもんがいます。この励ましでのび太はやってみますが、成功や失敗を繰り返します。成功すると「良かったね。」とのび太の気持ちを共有します。失敗しても非難しません。このように、のび太に対する接し方を対極にしていることがおもしろさを創り出しています。

さて、以前、保護者の皆さんに、日頃子供によくいっている言葉をうかがったことがあります。「早くしなさい。」が一番でした。続いて「言うことを聞きなさい。」「何度も言わせないで。」でした。では、早く行い、親の言うことを聞く子が良い子なのでしょうか。必ずしもそうでないことはご理解いただいていることと思います。多くの親はきっと、しっかり自分のことを考え、自立した子供であってほしいと願っているのではないのでしょうか。

では、どのようにすればそのような子供が育つのでしょうか。「○○できたからえらいね。」と褒めることは、できたことしか認めてもらえません。だから、できないことは「自分はだめだ。」と認めてしまいます。大切なことはやろうとした意欲を認めることです。失敗が許されるとチャレンジできます。また、当たり前なことを認めることも大切です。それが「自分のことをしっかり見てくれる」と子供は安心します。安心感は自ら成長する力になります。

また、「あなたはえらいね。」と評価するのではなく、「お母さん（お父さん）はうれしい。」と自分を主語にした言葉、Iメッセージ（私メッセージ）をかけることで、子供は「自分の行動が他者を喜ばせることができる」と役に立った自分に自信をもちます。そして、親に愛情を感じます。叱る時も「あなたは」ではなく、「お母さん（お父さん）は悲しい。」と主語を自分にすることで、子供は「自分の行動や言動が親をこんなに悲しませるんだ。」と反省します。

20日の終業式の日『中西の子』（通知表）をお渡しします。各学習の評価のみならず、この1学期にお子さんが頑張ってきたことや成長したことなどを担任が細かく見取りお伝えさせていただきます。ぜひ、ご家庭でもお子さんと一緒に、その頑張りや成長ぶりを振り返ると共に、Iメッセージ（私メッセージ）で褒めてあげてください。きっと、2学期の更なる意欲につながっていくと思います。

子供たちが明るく元気に成長していく姿を楽しむことができる、そんな親、家族であってほしいと願っています。

7月の行事予定



日	月	火	水	木	金	土
					7/1 安全指導日	2
3	4 全校朝会 5時間授業	5	6 避難訓練	7 縦割りの班活動	8 月曜時間割	9 学校公開 委員会活動
10	11 全校朝会 5時間授業	12 保護者会(1・2年)	13 クラブ活動	14 児童集会 お米の学校(5・6年) 保護者会(3・4年)	15 保護者会(5・6年) お誕生日給食	16
17	18 海の日	19 大掃除 5時間授業 学校保健委員会 13:00~	20 1学期終業式 給食終	21 夏季休業始	22	23
24	25 夏季水泳教室① 補充教室①	26 夏季水泳教室② 補充教室②	27 夏季水泳教室③	28 夏季水泳教室④	29 夏季水泳教室⑤	30
31						

◆ひまわり相談室の教育相談は、原則、毎週月・木・金です。SC（スクールカテ）は木です。不在のときもありますので、電話でご確認ください。【090-7196-7362】

7月の生活目標 力を合わせて 学校をきれいにしよう